

学校法人跡見学園

中期計画「ATOMI PLAN 2025」

はじめに

学校法人跡見学園（以下「学園」という。）が、そこに集い、学び、働く者にとっての永遠の居場所であり続けるために、設置する各機関（法人・女子大学・中学校高等学校）が目指すべき方向を一つにすることが欠かせない。この目指すべき方向と情報の共有を通して、女子大学・中学校高等学校がそれぞれの個性を大事にしつつ、学園で学ぶ生徒や学生のライフステージに応じた「自律と自立」の精神を育むことで社会に貢献したい。一方で少子化の波や高等教育機関への規制など、学園を取り巻く環境の変化も急激なものがある。時代の動きに取り残されることなく、次の時代を生き抜くことが可能な長期的なビジョンとその実現のための具体的な計画を策定し、常に進化し続けることが求められる時代となっている。

上記に基づき、令和2（2020）年2月、私立学校法の改正に合わせ、事業に関する中期的な計画「ATOMI PLAN 2025」を作成した。この計画は、令和2（2020）年度からの5年間を対象に、学園のミッションとビジョンのもと取り組むべき課題を提示し、全教職員が共有し協働して学園運営を推進するためのツールである。

「ATOMI PLAN 2025」のミッションとビジョン、取り組むべき課題は次のとおりである。

- 1) ミッション 豊かな教養と高い人格を持ち、
時代の要請に応える女性を育成し、
もって社会へ貢献する。

- 2) ビジョン 夢を実現するフィールドを提供する。すなわち、
生徒・学生に対して時代の要請に応えた最適な教育を提供する。
キャリア教育を推進し、自信と魅力ある女性を育成する。
財政基盤を強化し、より安定した学園の経営体制を確立する。
学園の認知度を上げ、社会に求められる跡見ブランドを確立する。

- 3) 取り組む課題 ①教育の質的向上と教育環境の充実
②キャンパス整備
③財務健全性
④経営改革

学園の各機関、全教職員は、この課題の解決をめざす計画を策定し、その実現を通じ学園の維持発展に努めることとしている。同じく私立学校法に基づき年度ごとに作成する学園の事業計画は、上記中期的計画の各年度アクションプランと位置付けている。「ATOMI PLAN 2025」に整理された4つの課題への取り組みとして、機関（法人・女子大学・中学校高等学校）別、年度別に策定された計画が各年度の事業計画である。

ミッション

豊かな教養と高い人格をもち、時代の要請に応える女子を育成し、もって社会へ貢献する

ビジョン

【夢を実現するフィールドを提供する】

- ・生徒・学生に対して時代の要請に応えた最適な教育を提供する。
- ・キャリア教育を推進し、自信と魅力ある女性を育成する。
- ・財政基盤を強化し、より安定した学園の経営体制を確立する。
- ・学園の認知度を上げ、社会に求められる跡見ブランドを確立する。

教育の質的向上と教育環境の充実

女子大学・大学院	
【質的保証制度の構築】	恒常的検証体制の構築
【教育体制・内容等の再構築】	自己点検・評価を通じた教育研究の改善
学部学科構成の再検討	学修成果を測る仕組みの構築
時代に即応したカリキュラムの実現	【キャリア教育の充実】
広範な空間で活躍する人材の育成 (外国語教育の深化)	初年次からの全学的支援体制の充実
広範な空間で活躍する人材の育成 (地域連携の深化)	ポートフォリオを活用した 学生のキャリア形成支援
公開講座の充実と 社会人向け講座の検討	【学生・生徒生活支援】
大学院教育の在り方の検討	学生生活支援の充実
	課外活動支援の充実
	中高大の連携体制の拡大
中学校高等学校	
【教育体制・内容等の再構築】	探究型学習の実践
ICTを活用した授業運営手法の 開発・習熟	進学支援の充実
学力向上のための授業の実践と 自律学習の促進	【学生・生徒生活支援】
国語力を基礎とする語学教育の充実	生活指導の徹底と課外活動の充実

キャンパス整備

女子大学 大学院	【デュアルキャンパス体制再構築】
	「文京Cメイン化構想」の構築
	新座Cのリフレッシュ化計画
	【文京C・新座C整備計画】
	ラーニング・コモンズの拡大
	ICT環境の整備・充実
中学校 高等学校	【文京C整備計画】
	ICT環境の整備・充実
	学習・生活環境等の整備
法人 事務局	【総合計画】
	2028年度以降の キャンパス計画の検討
	安心・安全な環境の整備

財務健全性

【安定的生徒・学生数の確保】	安定的学生数の確保・維持
【外部資金導入政策】	補助金の計画的獲得
【中期資金計画】	設備投資計画の策定
	中期計画に基づく 財務管理
【単年度資金計画】	財務計画PDC A サイクル構築
【安定的生徒・学生数の確保】	安定的生徒数の確保
【寄付金計画】	一般の寄付金募集
【外部資金導入政策】	新規収益事業の検討

経営改革

【組織計画】	戦略的広報活動による 学生募集の強化
【人事計画】	FD・SD研修の充実
	業務効率化の促進と ワークライフバランスの充実
【組織計画】	戦略的広報活動による 生徒募集の強化
	諸規程の整備（法人と協働）
	教職の役割分担の見直しと 連携強化
【組織計画】	ガバナンス体制の検討・強化
	諸規程の整備
【人事計画】	人事制度の再構築
	研修の充実

【係数目標指標】

≪女子大学≫

- ・志願者数5,500名以上と入学定員970名の確保
(入学定員充足率1.15倍未満)
- ・学生の満足度 90%以上
- ・就職率 95%以上

≪中学校高等学校≫

- ・入学志願者数1,500名以上と入学定員270名の確保
- ・生徒及び保護者の満足度 90%以上
- ・現役合格率 100%

≪学園全体≫

- ・経常収支差額比率 5%以上
- ・教育研究経費比率 30%以上

教育の質的向上と教育環境の充実

	項目	中期的な目標 (指標など)	目標の説明
女子大学	教育体制・内容等の再構築	学部学科構成の再検討 ①協議体の設置と検討開始	学部学科の構成について再検討するための協議体を設置し、より時代に合った教育の可能性を継続的に模索する。2025年度学生募集が可能なレベルでの検討を進める。
女子大学 大学院	教育体制・内容等の再構築	時代に即応したカリキュラムの実現 ①3つのPとカリキュラムの構築 ②CP、DPを実質化するためのPDCAサイクル研修	AP、CP、DPの3つのポリシーのブラッシュアップとその実現のためのカリキュラムを構築する。また、構築したカリキュラムを実質化させ、DPを達成するためにPDCAを回すという内部質保証の本質の理解促進を図る。それらの目的実現のためにIR機能を活用する。
女子大学	教育体制・内容等の再構築	広範な空間で活躍する人材の育成 (外国語教育の深化) ①国際学術協定校数 ②TOEIC受験率・平均点	授業及び授業外の多様なプログラムを提供することで、学生の語学力の向上を図る。
女子大学	教育体制・内容等の再構築	広範な空間で活躍する人材の育成 (地域連携の深化) ①自治体等協定締結数 ②その他指標の検討	「社会的存在としての大学」が担うべき地域連携活動を深めていく。またその活動を通じて、より広いフィールドで活躍できる人材の育成を図る。
女子大学 大学院	教育体制・内容等の再構築	公開講座の充実と社会人向け講座の検討 ①公開講座の受講者数増	講座の在り方について再精査し、「社会的存在としての大学」にふさわしい講座を介して大学が有する知を社会に還元し、広く社会に跡見学園を知ってもらう機会にする。
大学院	教育体制・内容等の再構築	大学院教育の在り方の検討 ①大学院生の入学者数増	入学定員を大幅に下回っている人文科学研究科日本文化専攻及びマネジメント研究科について、抜本的に再検討する。

教育の質的向上と教育環境の充実

	項目	中期的な目標 (指標など)	目標の説明
女子大学 大学院	質的保証制度の構築	恒常的検証体制の構築 ①体制と諸規程の整備 ②IRとの連携状況 ③PDCAの実行プラン	より充実した教育を提供するため、各階層においてPDCAを回す仕組みを整える。また、IRとの連携により客観的な指標に基づいてPDCAを回す体制を構築する。
女子大学 大学院	質的保証制度の構築	自己点検・評価を通じた教育研究の改善 (PDCAサイクルの実質化)	IRデータの活用、授業評価の結果を踏まえて、自己点検・評価を充実させる。これにより、教育体制・教育環境の検証を行うと共に教育改善、研究の充実を図り、より良い教育の提供を目指す。
女子大学 大学院	質的保証制度の構築	学修成果を測る仕組みの構築 ①学修成果を測る指標の設定	段階的に学修成果を測る仕組みを持つことで、学生自身に意欲を持って学業に取り組んでもらい、学修者本位の教育の実現を目指す。
女子大学	キャリア教育の充実	初年次からの全学的支援体制の充実	初年次からのキャリア形成支援の多様化、教職協働の拡大を組織の在り方も含めて検討し、学生満足度向上を目指す。
女子大学	キャリア教育の充実	ポートフォリオを活用した学生のキャリア形成支援 ①ポートフォリオの活用度合の向上 ②学生満足度の向上 ③各種資格（公務員・教員含む）の合格率向上	学生が各年次でキャリアプランを設定し、達成度を可視化することで、キャリア形成を行いやすく、大学としても支援しやすい体制をつくる。また、キャリアの実現に向けて必要な各種資格等の合格率向上を目指す。
女子大学	学生・生徒生活支援	学生生活支援の充実 ①施設設備面の満足度向上の指標検討 ②取組み等の満足度向上の指標検討	図書館や学生食堂の機能見直しを通じた学生の居場所づくりを推進する。また、国際化対応として、留学生受入策をも検討する。さらに、学内の奨学金プログラムの一層の充実も検討し、学生生活の向上を目指す。

教育の質的向上と教育環境の充実

	項目	中期的な目標 (指標など)	目標の説明
女子大学	学生・生徒生活支援	課外活動支援の充実 ①学内の課外活動に関与している学生数増	学生の競技能力・表現能力・コミュニケーション能力を高める場としての課外活動（クラブ活動やボランティア活動）の支援充実策を検討する。
女子大学 大学院 & 中学校 高等学校	教育体制・内容等の再構築	中高大の連携体制の拡大 ①施設（図書館、食堂等）の共用 ②教育連携活動の緊密化	隣接する中高大の各施設を相互利用することで、よりよい学習環境を学生・生徒に提供する。また、異なる世代の活動を間近にみることで教育意欲の向上を図り、中高大併設校による教育効果の最大化を模索する。
中学校 高等学校	教育体制・内容等の再構築	ICTを活用した授業運営手法の開発・習熟 ①教科、学年ごとのICT活用手法の検討	新学習指導要領に基づきICTを積極的に授業に取り入れ、生徒の情報活用能力の育成と、教科の学習目標の達成を目指すとともに教員のICTスキルを高める。
中学校 高等学校	教育体制・内容等の再構築	学力向上のための授業の実践と自律学習の促進 ①生徒の授業満足度UP ②自宅学習時間の確保	ICT、AL等を活用し、主体的・対話的で深い学びを実現できる環境を整える。生徒が、授業で学んだことを定着させるために自宅学習の充実を図る。
中学校 高等学校	教育体制・内容等の再構築	国語力を基礎とする語学教育の充実 ①英語外部検定試験の点数UP	新学習指導要領に基づき、国語科だけでなく他の教科によるレポート指導等言語能力の確実な育成を行う。また国語力を基礎として、外国語に対する理解力を高めていく。
中学校 高等学校	教育体制・内容等の再構築	探究型学習の実践 ①教科、学年ごとの探究型学習の実践	ICTの活用や協働により各自の課題について探究を深める。
中学校 高等学校	教育体制・内容等の再構築	進学支援の充実 ①進学実績UP	変化する大学入試においても生徒が希望通りに進学できるよう支援する。
中学校 高等学校	学生・生徒生活支援	生活指導の徹底と課外活動の充実 ①学内生活指導への保護者満足度UP ②課外活動に対する生徒の満足度UP	生徒が心身ともに健康に学校生活を送ることができるように、生活指導を徹底し、課外活動の充実を図る。

キャンパス整備

	項目	中期的な目標 (指標など)	目標の説明
法人 事務局	総合計画	2028年度以降のキャンパス計画の検討 ①中期計画期間内の「キャンパス総合計画」の策定 ②2028年度以降の「望ましいキャンパス長期構想」の検討 ③「キャンパス整備検討委員会」の設置	2025年「学園創立150周年」を節目とした本中期計画期間内に「文京・新座のデュアルキャンパス体制」の再構築・再整備構想を検討する。国の方針である2027年度までの特別区での定員抑制策、ICTによる社会構造の変化、学生の志望動向の変化、両キャンパスの立地条件の変化等を見極めつつ、2028年度以降の望ましい「キャンパス長期構想」を検討する。
法人 事務局	総合計画	安心・安全な環境の整備 ①耐震化率の維持・向上 ②BCPの策定	生徒・学生・教職員等にとって、より安全で安心な環境が提供できるよう整備を進める。また、施設設備を含めてBCP（事業継続計画）の策定を行い、災害等の緊急事態があった場合でも、被害を最小限にとどめられるよう準備を行う。
女子大学 大学院	デュアルキャンパス体制 再構築	「文京キャンパスメイン化構想」の構築 ①検討委員会等の設置 ②構想実現のための手法検討	創立150周年を展望し、改めて「文京キャンパス」の歴史的経緯・交通利便性・都心立地の優位性等を再認識し、「跡見学園のランドマーク」としての位置づけを明確にしていく。2027年度までの特別区定員抑制、大学設置基準等諸制約条件から、現行の「文京・新座デュアルキャンパス」併存体制は当面の間必要条件である。
女子大学 大学院	デュアルキャンパス体制 再構築	新座キャンパスのリフレッシュ化計画 ①検討委員会等の設置 ②計画推進の工程表の明示	上記記載の制約条件の下では、現状の「新座キャンパス」の価値を再認識し、両キャンパスを相互に有機的に活用していく事が不可欠である。その為に、「新座キャンパスのリフレッシュ化計画」を策定し、老朽化の進む施設をリフレッシュ化し、学生・教職員・OG・地域社会にとって魅力あるキャンパスに再構築していく。
女子大学 大学院	文京キャンパス 新座キャンパス 整備計画	ラーニング・コモンズの拡大	文京・新座キャンパス共に、学生個人またはグループの主体的な学びを支援できる場所を整備し、情報活用能力及びPBL等の研鑽の場所として活用させる。
女子大学 大学院	文京キャンパス 新座キャンパス 整備計画	ICT環境の整備・充実 ①無線LANカバー率向上	無線LANによるネットワークを充実させ、時代に合ったICT環境を構築する。また安全な利用ができるようセキュリティ対策を進める。

キャンパス整備

	項目	中期的な目標 (指標など)	目標の説明
中学校 高等学校	文京キャンパス 整備計画	ICT環境の整備・充実 ①無線LANカバー率向上 ②全生徒への情報機器配布	無線LANによるネットワークを充実させ、時代に合ったICT環境を構築する。また安全な利用ができるようセキュリティ対策を進める。
中学校 高等学校	文京キャンパス 整備計画	学習・生活環境等の整備	カフェテリアや自習室、面談室等生徒の学習・生活環境を充実させ、より落ち着いて過ごしやすい学校づくりを進める。

「地域における大学の振興および若者の雇用機会の創出による若者の修学および就業の促進に関する法律」は、第13条において大学などの設置者は地域の若者の修学や就業を促進するため、一部例外を除き、特定地域内で学生の収容定員を増加させてはならないと規定している。期間は、令和10年3月31日までの10年間。

財務健全性

	項目	中期的な目標 (指標など)	目標の説明
女子大学 大学院	安定的生徒・学生数の 確保	安定的学生数の確保・維持 ①志願者数：5,500名超 ②入学定員：970名確保 ③同充足率：1.15倍未満 ④退学率 2%未満	財務の健全性を保つため、入学定員を安定的に確保すると共に退学率を減少させ、在籍者数を維持する。また、補助金獲得及び学部創設もにらんで入学定員充足率1.15倍未満を維持する。
女子大学 大学院	外部資金導入政策	補助金の計画的獲得 ①一般補助の点数UP (特に「教育の質に係る客観的指標調査」 の増減率の向上) ②補助金比率の向上	補助金を獲得する体制を整備し、計画的な補助金獲得を目指す。また、補助金比率が「文他複数学部を設置する私立大学」の平均を下回っているため、補助金の増加に向けた組織的対応も検討する。
中学校 高等学校	安定的生徒・学生数の 確保	安定的生徒数の確保 ①入学定員270名の充足	財務の健全性を保つために、入学定員を安定的に確保する。
全体 ※	中期資金計画	設備投資計画の策定 ①中期計画の策定 ②単年度計画への反映	施設・設備、システム及びICT環境の整備について財務的な立場から投資計画を立て、戦略的な投資を実現する。
全体 ※	中期資金計画	中期計画に基づく財務管理 ①経常収支差額比率5%超 ②教育研究経費比率30%超 ③目標人件費比率の設定	設備投資計画を含め、戦略的な予算配分と経費節減を全学的に行い、今後10年で左記指標を達成し安定化させていく。これにより財務基盤の強固にする。併せて、教職員の財務管理意識の醸成を図る。

財務健全性

	項目	中期的な目標 (指標など)	目標の説明
全体 ※	単年度資金計画	財務計画PDCAサイクル構築 ①単年度計画と予算のリンク ②経常収支黒字目標の達成 ③予算・実績管理体制の確立	単年度の予算計画をコントロールできる様なPDCAサイクルを確立し、計画の適切な執行により、経常収支黒字の確保を実現する。
法人 事務局	寄付金計画	一般の寄付金募集 ①教育・研究への理解促進 ②寄付形態の多様化 特別の寄付金募集 ①周年事業への理解促進 ②特別なイベントとの融合	説明を尽くして寄付に対する理解を促進し、寄付形態の多様化等寄付しやすい環境を整えることで、寄付金収入を安定的に得られるような体制を構築する。もつてステークホルダーの帰属意識を向上させ、跡見ブランドイメージを高める。
法人 事務局	外部資金導入政策	新規収益事業の検討	財務体制の安定化を図るために、学生生徒納付金以外の収益事業を検討する。

※全体で行う事業については、法人事務局が主導して各機関で実施する。

経営改革

	項目	中期的な目標 (指標など)	目標の説明
女子大学 大学院	組織計画	戦略的広報活動による学生募集の強化 ①志願者数：5, 500名超 ②入学定員：970名確保 ③同充足率：1.15倍未満	戦略的広報の展開による学外認知度の強化を通じて学生募集につなげる。 入学定員については今後の学部再編等勘案厳格な運用を目指す。
女子大学 大学院	人事計画	FD・SD研修の充実 ①満足度の向上	FD・SD研修を計画的に実施し、PDCAサイクルに沿った運用により教職員の能力を向上させる。
女子大学 大学院	人事計画	業務効率化の促進とワークライフバランスの充実 ①長時間労働の減少度合	教職員の意識改革、ICTによる業務支援や業務のスリム化を通じてワークライフバランスの充実を図る。
中学校 高等学校	組織計画	戦略的広報活動による生徒募集の強化 ①志願者数：1, 500名超	戦略的広報の展開による学外認知度の強化を通じて生徒募集につなげる。
中学校 高等学校	組織計画	諸規程の整備（法人と協働） ①系統樹の整備（見える化） ②内容のバージョンアップ ③新規作成対応（ルール化）	現存する規程類を整理し、内規扱いの諸ルールを規程として明らかにし、また世情に応じた更新等により、もって透明性のある組織運営を行う。
中学校 高等学校	組織計画	教職の役割分担の見直しと連携強化 ①業務の切り分け ②組織と人員の適正化	教員特有業務と職員でも対応可能な業務とを適切に切り分け、教員が教育に専念できる時間の確保を行う。
法人 事務局	組織計画	ガバナンス体制の検討・強化 ①ガバナンス・コードに準拠したガバナンス体制の構築	ガバナンス体制の再構築により、公正かつ健全な組織運営を担保し、もって広く社会への責任を果たす。
法人 事務局	組織計画	諸規程の整備 ①系統樹の整備（見える化） ②内容のバージョンアップ ③新規作成対応（ルール化）	現存する規程類を整理し、内規扱いの諸ルールを規程として明らかにし、また世情に応じた更新等により、もって透明性のある組織運営を行う。

経営改革

	項目	中期的な目標 (指標など)	目標の説明
法人 事務局	人事計画	人事制度の再構築 ①人事制度の再構築検討 ②目標人件費比率の設定検討	働く者の労働意欲を喚起し、より実情に即した人事制度の再構築を進める。
法人 事務局	人事計画	研修の充実 ①プログラムの明示 ②満足度の向上	人事制度の再構築の一環として、主に職員研修について、職能別・テーマ別研修を計画的・明示的・横断的に実施し、PDCAサイクルに沿った運用により職員力を向上させる。